

平成29年度

# 事業報告書

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

# 平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

## 1 事業の成果

設立 6 年目となる平成 29 年度は、当会の根幹事業「スポーツボランティア養成事業」が前年度と比較し、約 3 倍の開催数・参加者数となり、事業計画を超える成果をあげることができた。実績として、スポーツボランティア養成事業では、スポーツボランティア養成プログラムを北海道から沖縄県まで 19 都道府県で 81 回開催し、延べ 4,413 名の修了者およびライセンス認定者を輩出した。また、新たな会員団体の加入として、全国 9 都市で展開しているリゾート&スポーツ専門学校、そして千葉ロッテマリーンズなどがあり、Jリーグおよび Bリーグに続き、NPB(日本野球機構)のチームも会員団体となった。さらに、山梨県社会福祉協議会も加入し、スポーツと異なる分野のネットワークも広がりつつある。

新たな団体との連携として、早稲田大学と笹川スポーツ財団、当会の 3 者で「スポーツボランティア教育プログラム開発に関する協定」を 5 月 12 日に締結し、共同開発した教育プログラムが同大学の授業などで活用されている。スポーツボランティア養成プログラムを授業の一部として活用している大学は、順天堂大学と亜細亜大学を含む 3 校となった。

日本財団の助成事業として、「拠点となり得る地域での研修会開催」を宮城県仙台市、愛知県豊田市などにおいて研修会の開催とともに意見交換会を実施し、地域における拠点の整備に努めた。また「事務局の強化」については事務局員の増加、事務所の移転などを行い事務局機能の強化を図った。

ラグビーワールドカップ 2019 や 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う機運の高まりを受け、前年度以上に大学や行政、企業から多くの講演依頼や照会があり、積極的に情報提供を行った。

総じて、中期目標である「日本スポーツボランティアネットワークのプレゼンス(存在感)の向上」を図る上で大きく前進した 1 年となった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
スポーツボランティアに関する普及・啓発	日本スポーツボランティアネットワーク会員拡充	適宜	全国	6名	正会員(団体)25、(個人)7 賛助会員1(団体)16、(個人)1 賛助会員2(団体)8	0
	地域拠点の整備	11月～2月	宮城県, 新潟県, 愛知県, 熊本県, 大分県, 鹿児島県	3名	6回 スポーツボランティア研修会または意見交換会の開催【助成事業】	7,136
		適宜	北海道、沖縄県等	3名	既存正会員団体との地域活性化【助成事業】	
	会員団体からの情報発信および情報管理	適宜	インターネット	6名	ホームページ(スポボラ.net)を活用した会員団体の普及・啓発	0
	コーディネート事業	通年	全国	6名	66事業 ・スポーツボランティア活動紹介 60件 ・セミナー紹介 6件	0
	事務局の強化	通年	東京都	17名	事業遂行に係るスタッフの増員【助成事業】 ・事務局員 6名(出向者含) ・事務局ボランティア 11名	13,637
スポーツボランティアに対する各種講習会の開催	スポーツボランティア養成プログラムの開催(共催事業含)	4月～3月末	全国	5名	スポーツボランティア研修会 56回 3,704名 リーダー養成研修会 14回 457名 上級リーダー養成研修会 1回 11名 コーディネーター養成研修会 1回 6名 スキルアップ研修会 4回 90名 ライセンス更新講習会 5回 145名 計 81回 4,413名	3,084
	公開講座の開催	5月～2月	東京都	6名	6回 339名【助成事業】	255
	スポーツボランティアサミットの開催	12月	東京都	6名	1回 71名【助成事業】	311
広報活動	スポーツボランティアに関する情報発信	通年	インターネット	6名	ホームページ(公式サイト)【助成事業】 ・団体概要 ・団体活動報告等 ホームページ(スポボラ.net) ・募集情報、各種研修会の開催案内等	846
講演	外部からの依頼に対する情報提供	通年	全国	26名	51回 大学、行政、企業等	0
						25,271

※千円未満 切捨